



菊武学園フラッシュニュース



(中学校吹奏楽部演奏)



(警察車両の展示)



(パントマイムパフォーマンス)

夏の風物詩「菊武夏まつり」を盛大に開催！ 約 3,500人が訪れる

今年も地域住民の皆様楽しんでいただこうと、8月24日に『第16回菊武夏まつり』を開催し、会場は多くの来場者で賑わいました。

当日は天候に恵まれ、尾張旭市立西中学校、尾張旭市立旭中学校吹奏楽部による演奏会、愛知県守山警察署より警察車両（パトカー・白バイ）の展示・乗車やミニ白バイのちびっこ乗車体験、ちびっこ制服の試着・撮影、マスコットキャラクター「コノハ警部」との記念撮影会をはじめ、名古屋産業大学や名古屋経営短期大学の学生らによる模擬店、子供向けゲームや遊びのブース、菊武幼稚園園長による手作りきしめんや東北ボランティア隊による TOUHOKU 縁結びのお店、キッチンカーによる移動販売などがずらりと立ち並び、それぞれ人気を集めていました。

そして、名古屋産業大学、名古屋経営短期大学、菊華高等学校及び菊武ビジネス専門学校の軽音楽部による姉妹校合同ライブの演奏、名古屋産業大学・名古屋経営短期大学のダンスサークルや有志団体の学生によるダンスパフォーマンス、パントマイマーの舞夢男爵氏によるパントマイムパフォーマンスが披露されました。メイン会場には高さ 7mの恐竜「ブラキオサウルス」のミストバルーンやミストテントが常設され、多くの人でにぎわっていました。多くの方々に参加していただき、夏の風物詩「菊武夏まつり」を無事に終えることができました。



(夏まつりの様子)



(ブラキオサウルスとミストテント)



(キクカバーガー・キッチンカー販売)

「アダプトプログラム」認定で地域美化に貢献

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学では、地元・尾張旭市内の道路等の公共施設を一定区間の美化・清掃活動に取り組む「尾張旭市公共施設アダプトプログラム」（里親制度）の活動団体に認定され、7月29日に活動区域であることを示す看板（アダプトサイン）が、市道に面した本学の植え込みに設置されました。

名古屋産業大学現代ビジネス学部の島宗俊郎特任講師と名古屋経営短期大学別科の学生たちが、尾張旭キャンパスに面した市道（城山街道）を清掃する取組がきっかけとなり、尾張旭市長に「里親届」を提出し認定されました。本学はこれまでも正課内・外の時間帯を利用して地域の美化活動を展開してきましたが、尾張旭市の支援を受けることで今後の取り組みに弾みがつきます。



(美化・清掃活動を行う別科生)

卓球部 東海大会出場・各大会優勝・準優勝への快進撃

菊華高等学校では、卓球部が公式試合で男女とも学校対抗戦・個人戦の競技種目で優勝や準優勝を連発し大活躍をしました。7月27日・28日に行われた「令和6年度愛知県夏季卓球新人大会」（愛知県卓球協会主催）では、女子ダブルスで岡部陽香選手（スポーツコース1年）と水野歩乃果選手（保育福祉コース1年）のペアが準優勝、女子シングルスで岡部陽香選手が優勝しました。また、7月30日から8月1日に行われた「令和6年度名北支部高等学校卓球選手権大会」（愛知県高等学校体育連盟主催）では、男子シングルスで森渉流選手（ITビジネス科2年）が優勝、山本大樹選手（総合進学コース2年）が準優勝し、ともに2年連続の快挙を成し遂げました。女子シングルスでは岡部陽香選手が準優勝に輝き、学校対抗戦では男子が優勝しました。そして、8月21日に行われた「令和6年度愛知県私学祭体育大会」の卓球競技では、学校対抗戦で男子が優勝し、名実ともに菊華高等学校が愛知県で全国優勝の愛知工業大学名電高等学校に次ぐ学校になりました。さらに8月21日に行われた「第38回名古屋市高等学校卓球選手権大会」（愛知県卓球協会主催）では、男子シングルスで森渉流選手が優勝し、8月24日に行われた「令和6年度愛知県秋季卓球新人大会」では、女子シングルスで風間玲奈選手（フードクリエイティブコース1年）が準優勝しました。

8月31日に行われた「第64回東海卓球選手権大会」の愛知県予選で森渉流選手と山本大樹選手が愛知県代表に選ばれ、11月15日から17日にサオリーナ（三重県津市）で開催される「第64回東海卓球選手権大会」に出場することになりました。



(快進撃の男子卓球部)

第7回パソコン入力スピードコンテストを開催

菊武ビジネス専門学校では、8月6日に中学生対象の「第7回パソコン入力スピードコンテスト」（愛知県・愛知県教育委員会後援）を本校で開催し、5中学校42名が参加しました。結果は、純字数1,614字で名古屋市立有松中学校の生徒が優勝しました。また、日本情報処理検定協会の基準を基に、1000字以上を打った3位までの選手に1級の認定をしました。1位の選手は、昨年より310字記録を伸ばしての優勝となりましたので、1年間の成長した姿を見ることができてとてもうれしく思いました。日頃の練習の成果を発揮できる場として、本大会が一助となっていることは素晴らしいことだとあらためて実感しました。



(真剣な眼差しで臨む中学生)

オープンキャンパス『OODAY』3days レポート

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院では、夏休み期間中に3学科の魅力を高校生や保護者に向けて発信するオープンキャンパス『OODAY』を開催しました。

トータルビューティ科『ビューティ DAY』では、ハリウッド発祥の最先端メイク技法エアブラシメイクを使ったヘアメイクショー、ブライダルビジネス科『ブライダル DAY』では、学校のトレンドドレスを使いアレンジを加えたドレスショー、フラワービジネス科『フラワー DAY』では、季節の花材を使って学生と教員が自由な発想で作上げていくフラワーショーが行われました。

この時だけのスペシャルショーを披露することで、本校在学の2年間で学生がどれだけの専門技術を習得できるか、そして、それを支えてくださるプロの先生方の素晴らしさが伝わる3日間となりました。



(フラワー DAY ショー作品)

菊武夏まつりで「手作りきしめん」を初出店

菊武幼稚園では、池本厚園長が名古屋産業大学2号館1階の学生食堂の厨房で調理した「手作りきしめん」を第16回菊武夏まつりで販売しました。

愛知県瀬戸市保健所の指導の下、暖かい麺のみ100杯のきしめんを用意し、午前10時から販売をはじめ、本園の保護者の方々やオープンキャンパスに参加された高校生、夏まつりスタッフの皆様が来店し、最初の不安を払拭する勢いで瞬間に完売となりました。初めての試みで不安もありましたが、無事にイベントを終了することができました。



(手作りきしめんを販売する先生)

防犯教室 阿武剋関・コノハ警部が登場

稲葉保育園では、8月2日に阿武松部屋から阿武剋関、愛知県守山警察署からコノハ警部が来園し、防犯教室が行われました。不審者に扮した着ぐるみのコノハ警部が黒いサングラスをつけて登場し、阿武剋関がつっぱりでやっつけるというやりとりから始まると、大きな関取と大きな着ぐるみのコノハ警部の登場に大喜びの子どもたちでした。

教室では「ついていかない」「みんなといつも一緒」「きちんと知らせる」「大きな声で助けを呼ぶ」「逃げる」の頭文字をとった「つ・み・き・お・に」について教えていただき、もし悪い人に連れていかれそうになったら「地面にお尻をつけて相手の脛を蹴る」といったジタバタ訓練を行いました。関取相手に行うジタバタ訓練では、緊張で声が出なくなってしまう子もいました。



(コノハ警部と阿武剋関)